

灘中校長室だより 令和8年8月27日

みんな元気Da

TEL: 0827-32-0211 Fax: 0827-32-0214

E-mail: nada-j@iwakuni.ed.jp

～地域を愛し、地域からも愛される、活力と感謝のあふれる学校～



校長 河村 泉

今年4月、新しくできた気象用語「酷暑日」が、早速耳に留まることとなった今夏・・・名の通りの酷い暑さに加え、熊本県や千葉県において大きな災害が人々を襲いました。被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。私は、かつて災害ボランティアに参加させていただいた経験があります。現地に赴くと、道路のすぐ側に瓦礫の山、跡形もなく崩壊した住居等が眼前に広がり、その惨状に愕然としました。さらに、汚泥等からと思われる「異臭」が街に立ち込めており、「これが本当に辛いんだ。」と、現地の方々が話していらしゃったことをよく記憶しています。被災地に暮らしていない私たちが、今できること、考えるべきことについて、ぜひ、皆で話し合いたいものです。

さて、2学期を迎えるにあたり、今号は、夏休みに大切にしてほしいと伝えた3つの視点＜命・目標達成・つながり＞から振り返ってみたいと思います。

まず、休み期間中、自分の命や生活を守り、大きな事故や事件等に巻き込まれることなく、全校生徒が笑顔で本日を迎えることができ嬉しく思っています。日本では、8月に広島・長崎の原爆の日や終戦記念日があること、併せて先に述べた災害の発生により、命の尊厳や今ある日常の大切さについて、一層痛感させられました。

二つ目の「目標達成」について、関連する内容をご紹介します。県選手権大会に出場した男女ソフトテニス部、さらには、県コンクール大会に臨んだ吹奏楽部、また、校外団体に所属し大会出場を果たした生徒の応援に行きました。いずれの会場も張り詰めた空気が漂っており、選手たちの緊張感や気迫が伝わって

まいりました。そのような中、練習で培ってきた力を発揮すべく、挑戦心・克己心をもって本番に臨む生徒の姿がありました。一生懸命な姿、というものは、本当に尊く、素晴らしい！そのように思わせてくれた生徒たちに、心から感謝です。大きな舞台に立てた経験を自信と誇りにして、より一層謙虚に努力してほしいと思っています。また、夏休みの目標を達成できた生徒、あと一歩及ばなかった生徒、様々あるかと思いますが、2学期の節目を機に、新たな気持ちで再スタートを切りましょう。

最後は「つながり」について、述べたいと思います。8月2日に行われた藤生地区盆踊りのボランティアに関しては、前日の準備、当日の運営、翌日の片付けに大勢の生徒が尽力しました。当日は、踊りの輪の中に加わる生徒も多く、地域の和も深まっていくようでした。灘中生が活力となり、地域行事の盛り上げの一翼を担えたのではないかと感じています。

「自分の行動が人の喜びや助けになる」という思いを大切にできる生徒を育ていきたいと、常日頃から考えています。地域の皆様には、そのような学びの機会を作っていただき、あたたかいお声がけもいただいていることを、いつも大変有難く思っております。また、校内では、体育祭応援団や生徒会執行部が話し合いを重ね、着々と練習や下準備を進めていました。大きな学校行事が目白押しの2学期、各リーダーが中心となって活動し、全校生徒の絆が一段と深まっていくものと確信しています。

今学期も、保護者・地域の皆様と心をひとつに、誠実に教育活動に取り組んでまいります。引き続き、本校へのご支援を賜りますようお願いいたします。